

MECHATROLINK NEWS「MMA-FLASH」は、協会からMECHATROLINKに関する最新情報をお伝えします。

特集

MECHATROLINK協会2015年度総会／講演会並びに懇親会の開催報告

FAとITをつなげる架け橋となる、注目の特別講演も開催 大盛況のMECHATROLINK協会2015年度総会

トップコーナーでは、毎号MECHATROLINK協会(MMA)の会員企業、ユーザに向けてホットな情報を様々な企画でお届けします。

今回は、2015年6月5日(金)に東京秋葉原UDXカンファレンスにて開催されたMECHATROLINK協会2015年度総会の模様を報告します。

毎年、初夏の定例イベントとしてすっかり定着した感のあるMMA総会ですが、今年は過去最高となる93社、150名の方々に出席いただきました。会場いっぱいに用意した席も早々に埋まり、総会開始前から会場内は熱気にあふれていました。



MECHATROLINK協会
幹事長
小笠原 浩氏

小笠原幹事長による開会の挨拶では、ドイツ政府が発表した「Industrie4.0(第4次産業革命)」をキーワードに今後の活動方針やメンバに向けてのメッセージを発信しました。すべての機器がインターネットにつながり、機器の“見える化”がますます進んで行く環境下における、MECHATROLINK普及の意義や、拡大に向けての思いを語りました。

総会の部では、三輪事務局代表から2014年度の総括および2015年度計画の発表。続いて事務局員から会計報告および予算計画、各部長より技術分科会(PC技術部会/マーケット部会)の活動報告と計画について説明しました。



MECHATROLINK協会
事務局 代表
三輪 卓也氏

MMAのテーマと直結した3つの特別講演

特別講演では、韓国のAJINEXTEKCO.,LTD様をお招きし、「韓国ロボット産業動向とMMA/安川電機との共同開発

の事例紹介」のテーマで講演いただきました。PCベースコントローラに最適なMECHATROLINK対応通信モジュールの紹介をはじめ、複数メーカのFPGAとIPコアを使った製品化の実現ストーリーや、IoT(Internet of Things)、Industrie4.0に対応した韓国政府、大企業のロボットニーズをあわせてご紹介いただきました。



【特別講演1】
AJINEXTEK CO., LTD
CHOI SUNG-HYUK 様

ソフトバンクモバイル株式会社様からは、「IoT/M2Mがもたらす予測ビジネスと未来社会グローバル展開、Pepperそして…」と題して、現在大幅に拡大している、M2M(Machine to Machine)との市場に対しての同社の取り組みや採用事例や、IoT普及のための7つのキーワードをご紹介いただきました。その中で同社の考えるIoTビジネスとして、他社とのコラボレーションおよび自社ブランドのビジネス事例についても講演いただきました。



【特別講演2】
ソフトバンクモバイル株式会社
荒木 健吉 様



総会風景



【特別講演3】
VEC事務局
村上 正志 様

また、VEC事務局様からは、「日本の強みとなる“Industry4.1J”が作り出す世界」のテーマで、Industry4.1Jが抱える最大の課題として、ネットワーク・セキュリティの問題を上げ、それを克服するための方策をわかりやすくご説明いただきました。

今回の特別講演は、いずれもMMAが今後取り組む大きなテーマとなる、IoTビジネス、Industry4.0とそれにまつわる情報セキュリティについてのものでした。MMAメンバのみならず、多方面からも注目と関心を集め、今回大盛況となった総会の一因でもあります。今後グローバルな製品開発やビジネス展開を考えられているメンバ企業においても、取り組みのヒントやきっかけになる講演となったのではないのでしょうか。



新製品展示の様子

メンバ間の交流、コラボにつながる 架け橋として

その後、MMAメンバ企業3社による新製品紹介を経て、無事に閉会となりました。

休憩時間や懇親会では、年に一度の総会を楽しみにされている多くの来場者で賑わい、交流を深められていました。こうしたMMAを通じたつながりが、今後ビジネスの場でもソリューションの共同提案などに実を結んでいくことを期待しています。

総会を通じて、皆様がMMAの活動、MECHATROLINKの広がりやニーズに深く興味を持っていただいていることを改めて強く感じました。MMAでは、今後もセミナーや意見交換会など、メンバ間の情報共有や連携を促す機会を設けていきますので、ご期待ください。また、今年度もアジア地区を中心に、積極的にMECHATROLINKの推進活動を行って参りますので、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

News & Topics

MECHATROLINK対応製品デモ機の紹介

安川電機(中国)有限公司 上海ロボットセンタ、上海ソリューションセンタ

安川電機(中国)有限公司様では、中国国内に数か所にショールームを設置されています。中でも、上海にあるショールームは、アジア地区最大規模を誇ります。この上海ショールームは、より具体的なアプリケーションの展示をコンセプトにした「ロボットセンタ」と、技術支援と教育を目的とした「ソリューションセンタ」による構成で、2014年12月17日に設立されました。各階にはMECHATROLINKを使用した応用事例のデモも数多く展示されています。今回はその中から2種類の展示の見どころについて、各センタのご担当者のコメントとあわせて紹介します。

上海ロボットセンタ：プレス間ハンドリングロボットシステム

新製品の6軸ロボットMOTOMAN-MH12を3台使用した、プレス加工装置間におけるハンドリング工程のデモです。2台のプレス加工装置とその周辺装置のサーボドライブをMECHATROLINKで制御し、3台のMOTOMANと協調させることで、間口の限られたプレス加工機でも高速かつ高精度な製品加工の実現を提案しています。

■ ロボット事業技術部長へのインタビュー

中国ではロボットシステムにおいても、高品質で、より付加価値の高いものを求めているメーカやユーザが多く、そのニーズに応えられるようなデモ展示や提案を常に行っています。お客様によりニーズや課題は様々ですが、このロボットセンタでの経験が少しでも解決のヒントとなり、顧客満足につながればと考えています。



上海ソリューションセンタ：トータルソリューションデモ機

インバータ駆動のコンベア上を流れるワークをサーボ駆動の直交ロボットで追従しながら搬送し、テーブルに配置します。続いて、テーブル上のワークを多関節ロボットで搬送しながら、見学者が指定した構成で組み立てる、という自動化システムです。MECHATROLINKを通して、統括モーションコントローラと、全ての制御機器(安川電機製のサーボ、インバータ、ロボット)をつなぐことによって高速かつ高精度な動きを実現しています。

■ M&C技術部長、FAシステム部部長へのインタビュー

お客様のニーズに応えていくことはもちろんですが、日本の技術やものづくりの継承など、若い世代向けの興味喚起やビジネスへの発展も目的に、教育機関と協賛した活動を行っています。学生たちの将来のビジネスライフへとつながるサポートができればと考えています。



展示会出展のご案内

「2015台北国際自動化工業大展 出展のご案内」

イベント会場
のご案内

会期：2015年8月26日(水)～8月29日(土)

場所：台北世貿南港展覽館 (TWTC Nangan) 4階
No.1, Jingmao 2nd Rd., Nangang District, Taipei, Taiwan

ブース番号：M612 備考：URL <http://www.autotaiwan.com.tw/>



主な出展メンバの
ご案内 (敬称略)

- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|------------------|--------------|
| ・ アズビル株式会社 | ・ 株式会社アルゴシステム | ・ オリエンタルモーター株式会社 | ・ 株式会社エニイワイヤ |
| ・ 株式会社エム・システム技研 | ・ 株式会社キーエンス | ・ 株式会社デジタル | ・ 日機電装株式会社 |
| ・ 株式会社マイクロネット | ・ 安川情報システム株式会社 | ・ 株式会社安川電機 | ・ 横河電機株式会社 |
| ・ Art Control System, Inc. | ・ LNC Technology Co., Ltd. | | |

展示会・セミナー レポート

産業オープンネット展2015へ出展

MMAは、2015年7月7日(火)に大阪及び7月9日(木)に東京で開催された「産業オープンネット展2015」に出展しました。今年で4回目を迎えた本イベントは、ネットワーク団体10社及び協賛企業48社と過去最大規模の出展企業が一同に集結し、それぞれのネットワーク化のメリットや各製品についての紹介が行われました。

MMAの展示エリアでは、アプリケーション事例を紹介した最新の製品展示を行い、マルチベンダーによるラインナップの豊富さやMECHATROLINKのメリットをPRしました。また、同日にはMECHATROLINKセミナーを開催し、「IoTとMECHATROLINKの融合による生産性の革新」についてご紹介しました。今注目されている今後のものづくり現場にどのように対応し変化していくのか、聴講者の方々が興味をもっている様子が多く見られました。本イベントで、200名以上の方にご来場いただきセミナーを聴講していただきました。



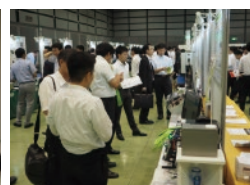
セミナーの様子(大阪)



展示会場の様子(大阪)



セミナーの様子(東京)



展示会場の様子(東京)

アジアものづくりカンファレンス2015(ベトナム)へ出展

MMAは、2015年7月23日(木)にベトナム(ホーチミン)で開催された「アジアものづくりカンファレンス2015」に出展しました。昨年に引き続き開催された本イベントですが、今年は更にテーマを深化させ、2014年のテーマ「自動車産業の革新」に加えて、2015年は「エレクトロニクス産業の革新」と題してアジア各国で「ものづくりカンファレンス」が開催されます。今回は、「マネジメント・イノベーション」、「Factory Innovation」、「R&D Innovation」の3セッションで大手日系メーカーや現地の企業合わせて9社による講演が行われました。各社のものづくりへの取り組みや課題など様々な業界や視点による実情に合わせた具体的なテーマで、貴重なお話を聴くことができました。また、同フロアには協賛企業の製品展示が行われ、MMAブースにも100名を超える方にお越しいただき、会場は終始賑わいを見せていました。

9月にはインドネシア(ジャカルタ)、10月にはタイ(バンコク)、12月にはインド(チェンナイ)で行われる予定で、ASEANエリアでのMECHATROLINKの普及のため、今年度も本イベントに参加いたします。



出展会場



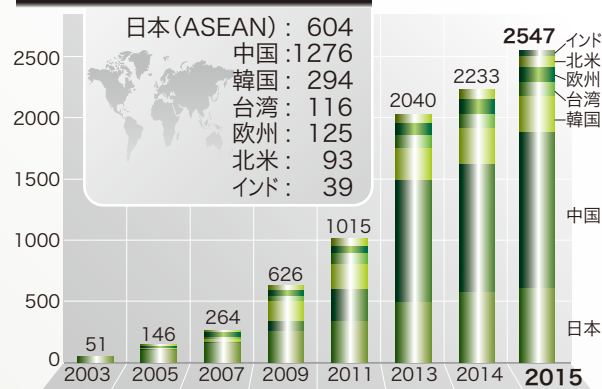
展示会場の様子

会員数2500社を突破！中国会員数は1200社超えを達成！

2015年7月にMMA会員メンバー数が2500社を突破しました。2003年の一般公開開始から装置の高機能・高性能・高信頼性化の市場要求に合わせて、アジア地区を中心に2011年に1000社、2014年には、2000社を突破、その後約1年半で500社を超える新規メンバーに入会いただくことができました。MMAは、モーションネットワークとしてのデファクト化を目標に、2014年8月には国際標準規格(IEC61158/IEC61784)への採択や、アジア地区に加えて今後市場の拡大が見込まれるASEAN、インド地区への活動を強化しました。2014年7月にはインド支部を設立し、ASEAN各国でのイベント実施など積極的な展開を実施しています。

近年、装置の高機能・高性能・高信頼性への要望が高まり、IoT、M2MやIndstrie4.0など市場環境の大きな変化に伴い、ネットワークが非常に注目されてきています。今後もMMAでは「IoT/M2MとMECHATROLINKの融合による生産性の革新の提案」として、MECHATROLINKのメッセージ通信機能を使用した生産性改善など、幹事会社を中心に会員メンバーと、より具体的なソリューション提案を実施して参ります。

メンバー数推移 2015年7月31日現在



MECHATROLINK新製品紹介

オリエンタルモーター株式会社 “ステッピングモーター αSTEP AZシリーズ 多軸ドライバ MECHATROLINK-Ⅲ対応”

特長

- MECHATROLINK-Ⅲに対応した2軸、3軸、4軸接続可能な多軸ステッピングモータードライバです。
- クローズドループステッピングモーターユニット αSTEP AZシリーズDC電源入力タイプのモーターとAZモーターを搭載した各種電動アクチュエーターが制御可能です。
- 機械式アブソリュートセンサで位置情報を管理しているため、バッテリーレスを実現。マシンサイクルの短縮や信頼性の向上に加え、外部センサも不要となるため、省スペースやトータルコストダウンに貢献できます。



AZシリーズ

お問い合わせ先

オリエンタルモーター株式会社

〒110-8536 東京都台東区東上野4-8-1

TEL: 03-6744-0411 FAX: 03-5826-2571 URL: <http://www.orientalmotor.co.jp>

コラム

MECHATROLINK-Ⅲ デモ機紹介 ～見える化デモ～

MMAでは、MECHATROLINKの特長を紹介するデモ機を作成しています。

今回は、MECHATROLINK-Ⅲの特長の一つであるメッセージ通信を使用した「見える化デモ機」を紹介します。

見える化の特長

①メッセージ通信を使用し、スレーブ機器の内部データを収集

リアルタイムなモーション制御を邪魔することなく大容量のデータの送受が可能です。

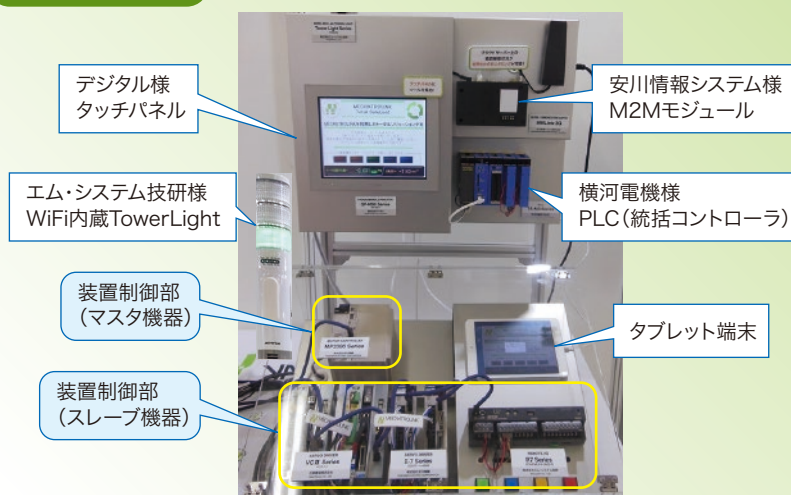
②メッセージ中継の仕組みを使用し、上位機器とスレーブ機器が直接やり取り

マスタ機器に負荷をかけずに、上位機器（表示機・タッチパネルなど）とスレーブ機器が直接やり取りが可能です。

見える化デモ機の特長

メッセージ通信・メッセージ中継機能のデータをM2Mモジュール/WiFiモジュールを介して通信することで手元のPC、タブレット端末にて遠隔地にある装置の状態確認・パラメータ調整などが可能になります。

デモ機イメージ



IoT, M2Mに対応したシステムを作りたい

メッセージ通信・メッセージ中継機能を使用し、汎用のEthernet機器と組み合わせることでMECHATROLINK-ⅢシステムをIoT, M2Mに対応させることが可能となります。

編集後記

MECHATROLINK News MMA-FLASHの発行は今回で38号目となりましたが、この号をもって終了する運びとなりました。これまでご愛読いただいていた皆様には心より感謝申し上げます。

今後は、協会ウェブサイト内のコンテンツを拡充し、これまで以上に皆様にたくさんの情報をお伝えしていきます。お楽しみに！（平沼）

お問い合わせ先

MECHATROLINK協会へのご入会、その他のお問い合わせは、下記までお願いします。

発行：平成27年8月20日

発行所：MECHATROLINK協会 〒358-8555 埼玉県入間市上藤沢480番地

TEL (04) 2962-7920 FAX (04) 2962-5913

e-mail: mma@mechatrolink.org

URL: <http://www.mechatrolink.org/>